

地域でがんばる農家さん

平均年齢90歳 牛飼いとリオ

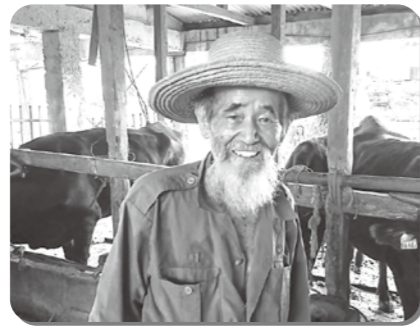


あらた そうほ
名前 新田 宗保 (89歳)
牛舎 掛保久
黒毛和牛 母牛16頭、子牛8頭
畜産業歴 20年余

畜産業を始めたきっかけ キビ運搬の仕事をしていましたが、その営業権を甥っ子に譲ったので、何か仕事をしないと、牛を飼いだした。

元気の秘訣 家ではゴロゴロしているが、牛舎に来たらエサをあげたり、掃除をしたりで遊ぶ暇はない。

取材者のコメント 毎日軽トラックを運転し、牛のエサとなる草刈りを行っている。取材後も今から草刈りに行ってくとまだまだ日差しが強い中、出かけていった。



おなが やすお
名前 翁長 安雄 (89歳)
牛舎 幸地
黒毛和牛 母牛4頭、子牛2頭
畜産業歴 45年余

畜産業を始めたきっかけ 農業(畑)には、たい肥が必要だから、集落でも畜産が必要だと思って牛を飼うことになった。

元気の秘訣 牛の世話をしていたら自然と健康になる。毎日、牛のエサとなる草刈りで体を動かしている。食事は肉類が好き。

取材者のコメント まだまだ先輩ががんばっているの、生涯現役でいたいとのこと。穏やかな雰囲気から、和牛改良組合員からは「仙人のようだ」と慕われている。



よなみね あんせい
名前 与那嶺 安正 (91歳)
牛舎 幸地
黒毛和牛 母牛18頭、子牛8頭
畜産業歴 47年余

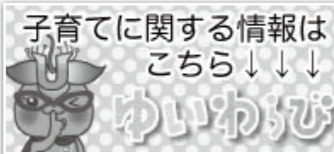
畜産業を始めたきっかけ 戦前から牛は飼っていて、小さいときからエサやり(草刈り)は手伝っていた。本格的に始めたのは昭和45年。

元気の秘訣 食事は魚よりも肉が好き。お酒もたまに飲む。日中は2ヶ所の牛舎を歩き来しながら忙しく牛の世話をしている。

取材者のコメント 不安定な牛舎の柵も身軽に乗り越える安正さん。多少の風邪は牛舎にきたら治る、3日も休んだら体がなまると笑った。

西原町の子育て情報がいっぱい ゆいわらび つまったホームページ

- 内容は ①妊娠・出産 ②子育て ③健康と予防 ④サポート・助成制度 ⑤学校と教育 ⑥子どもの安全 ⑦施設の利用



子育てに関する情報は
 こちら↓↓↓
 ←西原町ホームページの
 このバナーをクリック または **ゆいわらび** で検索!
 CLICK!

お出かけさわりん

学校、企業、各種イベント
 どこにでも町内無料で
 きますよ!
 詳しくは産業観光課まで
 お問い合わせください。



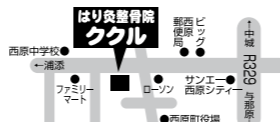
【お問い合わせ】建設部産業観光課 ☎ 945-4540

はり灸整骨院 ククル Cu Cu Ru

西原町字呉屋 75 いなみ興産ビル 103
 予約不要 TEL:098-944-4186

時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00-12:00	○	○	休	○	○	○
午後 14:00-16:00	○	○	○	○	○	休
午後 17:30-19:30	○	○	○	○	○	○

休診日
 日曜日・祝祭日・水曜午前・土曜午後



青年のパワーあふれるまつり



夏の風物詩として定着している第16回さわらび青年エイサーまつりが、9月24日に東崎都市緑地(イルカ公園)で開催されました。地域文化を継承し、地域で日々活動している町内の青年会や子ども会によるエイサーや旗頭、獅子舞にくわえ、与那青年会(与那原町)のエイサーも出演するなど、多くの団体がまつりを盛り上げました。



多くの親子連れが参加し、講演やクイズをとおして南極の不思議を知り、また越冬隊が着る防寒の試着や南極の氷に触れる機会がない世界を身近に感じています。



南極の氷に夢中 春日井さん ぼくも越冬隊員

参加者から「オーロラや氷山などスケールの大きい話にワクワクしました」「寒いけど、一度は行ってみたい」などの感想が寄せられました。

南極の不思議にあふれる

演劇をとおして介護や認知症を考える



介護や認知症の問題に直面する家族の関わりを描いた演劇「心の花(西原町教育委員会主催)が、9月24日にさわらび未来ホールで開催されました。プロの劇団員にくわえ、オーディションで選ばれた町民も出演し、切なくも心あたたまるシーンを演じました。

観客から「家族の認知症ともっと向き合っていきたい」、「自分や家族が認知症になった時に受け入れられるかを考えさせられました」といった感想が寄せられ、演劇をとおして介護や認知症を考える機会となりました。

科学の世界に魅了され



「おもしろ科学教室in西原町」(西原町教育委員会主催)が9月30日に町中央公民館で開催され、物理・地学技術の3つのグループに、親子15組34人が参加しました。物理では身の回りにある道具を使ったマジックが披露され、地学では沖縄で採れる石の種類を学び、技術では木材を加工してウッドマグネットを作成しました。

子どもたちは次々と起こる不思議な現象に目を輝かせ、科学の世界に引き込まれていました。

坂田小学校音楽部九州大会 金賞



坂田小学校音楽部が3年連続で出場を果たしている第9回九州合唱コンクールで、西原町初となる金賞を受賞しました。同部は週5日の練習に取り組みほか、町の平和音楽祭や青少年音楽祭での出演を重ねるなど経験を積み、念願の金賞を受賞しました。

伊佐梨里菜さん(6年)は「練習どおりに、大きなホールでも気持ちよく歌うことができ良かったです。また、柵原リリカさん(6年)は「九州大会で初の金賞なのでとても嬉しいです」と喜びを語りました。